

3) Publication under JITSUKAI SHOWA 62-23681:

This disclosure is also characterised by a circular sewing attachment to be mounted at the right-hand side of the needle position.

Compared with our application, the disclosed structure will not only make cloth feeding work inconvenient but also obstruct smooth sewing operation.

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-23681

⑬ Int.Cl.⁴

D 05 B 35/00

識別記号

庁内整理番号

6557-4L

⑭ 公開 昭和62年(1987)2月13日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ミシンにおける丸縫いアタッチメント

⑯ 実 願 昭60-117138

⑰ 出 願 昭60(1985)7月30日

⑱ 考 案 者 広 瀬 友 直 東京都品川区上大崎3丁目14番35号

⑲ 出 願 人 晃信精密機械株式会社 東京都品川区西大井6丁目3番8号

⑳ 代 理 人 弁理士 牧 哲 郎 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

下端に押え金Aを取付けた押え棒Bに直交して連結棒1を取付け、連結棒1が貫通する摺動子2の背面に螺入する押螺子3により摺動子2を連結棒1の適所に固定し、

摺動子2にはスプリングSを巻く調節螺杆4を昇降自在に螺通し、

調節螺杆4の下面に形成する抜け止め用座板5の底面中心には針穴6を穿つと共に螺杆4には下面に環状に永久磁石7を張着する押圧板8を挿通して押圧板8を座板5により調節螺杆4より抜け出ぬようになし、

しかして中央凹所10に既製の画鋏Cの座板を収容する裏当板9を、中央に画鋏Cの針13を刺し通す針孔12を穿つ磁性体11に着脱自在に結

合し、

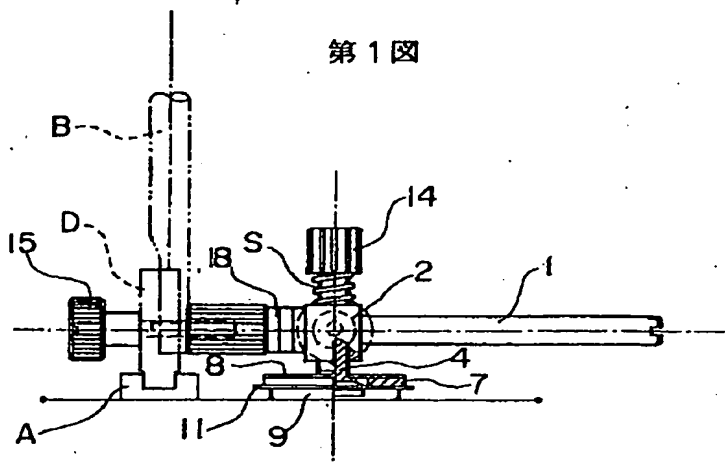
前記針13を布地を貫通して調節螺杆4の針穴6に挿入して成るミシンにおける丸縫いアタッチメント。

図面の簡単な説明

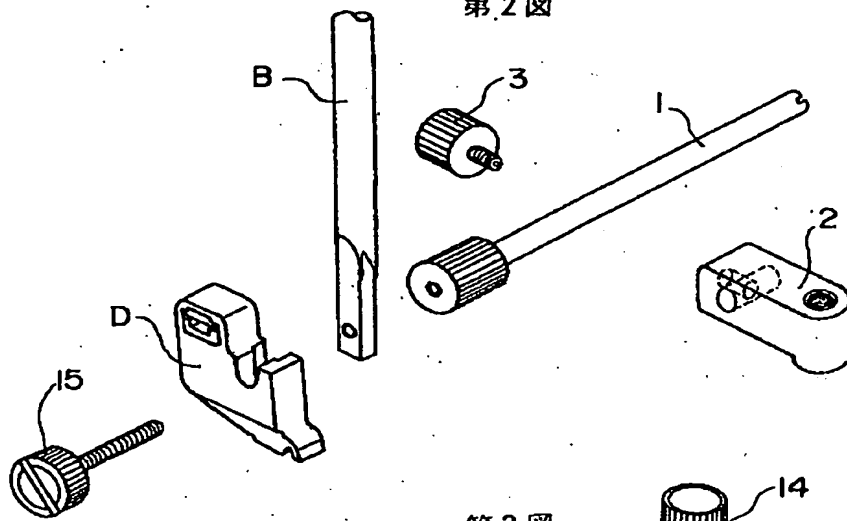
第1図は本考案実施例の正面図、第2図は押え棒Bと連結棒1の分解斜視図、第3図は調節螺杆4、摺動子2と押圧板8の分解斜視図、第4図は調節螺杆4の底面図、第5図は裏当板9と磁性体11の分解斜視図。

1は連結棒、2は摺動子、3は押螺子、4は調節螺杆、5は座板、6は針穴、7は永久磁石、8は押圧板、9は裏当板、11は磁性体、12は針孔、13は針、14は摘子。

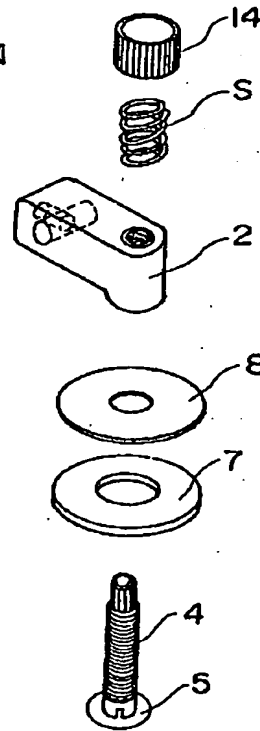
第1図



第2図



第3図



第4図



第5図

